

# 最新食品安全強化セミナーのご案内

## リスクベース予防管理システム×食品防御×トレーサビリティ

2026年に米国で義務化される食品トレーサビリティ規則（FSMA 204条）をはじめ、HACCP・HARPC（HACCP進化形）の導入、フードディフェンス計画の策定など、食品輸出に求められる最新の安全管理対策について詳しく解説します。

政府が掲げる2025年までに輸出額2兆円、2030年までに5兆円の目標達成を視野に、輸出先国の規制に適応し競争を高める実践的な知識を提供します。

オンライン：半日

### 1 ハザード分析の科学的手法解説セミナー

HARPCに基づく食品安全計画の作成に向け、**基盤となるハザード分析**について、**科学的手法を用いたリスク評価**を詳細に解説

2025年	5月29日	Web
2025年	6月11日	Web
2025年	6月26日	Web
2025年	7月 7日	Web

対面開催：終日

### 2 HARPCに基づく食品安全計画作成演習セミナー

米国FSMA第103条に準拠した**HARPC（ハザード分析およびリスクに基づく予防管理）**の**設計・運用方法**を習得

2025年	7月 9日	札幌
2025年	7月23日	福岡
2025年	9月 2日	大阪
2025年	10月 2日	東京

対面開催：終日

### 3 フードディフェンスの強化と計画策定セミナー

意図的な異物混入の脆弱性に対応するため、**フードディフェンス（食品防御）強化の実践的アプローチ**を習得

2025年	7月10日	札幌
2025年	7月24日	福岡
2025年	9月 3日	大阪
2025年	10月 3日	東京

オンライン：半日

### 4 トレーサビリティ導入支援セミナー

フードチェーン管理の強化のため、2026年1月施行の**米国FSMA第204条（食品トレーサビリティ規則）**に対応した**最新手法**を解説

2025年	9月16日	Web
2025年	10月 7日	Web
2025年	10月28日	Web
2025年	11月25日	Web

ヴェル・サポート合同会社

代表 植田 浩之氏  
(セミナー1担当)



日本食品分析センターで微生物試験や衛生指導に従事し、HACCP事業部の立ち上げに貢献。教育・研修部部長を務め、研修講師やコンサルティングを担当。現在も食品衛生の教育・研修に従事し、日本食品衛生協会 技術参与、農林水産省など公的機関の委員を務める。

一社）食品科学技術機構

代表理事 今城 敏  
(セミナー1～4担当)



食品安全、特に微生物学的品質保証を専門とし、研修・コンサルティングを実施。HACCP責任者やPCQI・FDQI資格者を1000名以上育成。食品メーカーで品質保証・微生物研究に従事し、農水省出向時にHACCP政策へ貢献。大学で後進育成にも尽力。

詳細・お申込：<https://www.foodscitech.org/seminar2025>

協力：食品安全技術センター、九州産業大学、株式会社オーク、一般社団法人微生物制御技術機構

## お問合せ先

一般社団法人 食品科学技術機構

〒107-0062 東京都港区南青山2-2-15WIN青山531

サイト：<https://www.foodscitech.org/>メール：[scitechfood@gmail.com](mailto:scitechfood@gmail.com)

## 注意事項

食品事業者を対象とし、特に食品の輸出を目指す企業や安全管理を強化したい食品製造業者 に向けた内容となっております。

コンサルタント・審査機関・業界団体や学術関係者などのお申込はお断りする場合がございます。